

第4回 開成町総合計画審議会結果概要

日時	令和6年4月2日(火) 10:00~11:40
会場	開成町役場 会議室A・B
出席者	委員:10名(3名欠席) 町 : 5名

1 開会

2 議題

- (1) まちづくり町民ワークショップ実施結果について
資料1により、事務局が説明した。

【質疑応答・意見】

(委員)

第2回の時の分野ごとのグループ分けの人数や内訳は。どのような属性から出た意見か確認したい。どのような年齢や性別の人が出ているのか一覧がほしい。

➡(事務局) 状況説明

(委員)

第1回、第2回の間には能登半島地震があった。第2回はそれがどこまで影響しているか。町民意識調査とのすり合わせはどう考えているか。職員も参加していたことだが、特定の町民、職員の意見が色濃く出てしまうのではないか。

➡震災は参加者の意識に影響していたと思う。ワークショップでの意見は一参考材料。

➡職員はファシリテーターとして参加していたので、町民の意見のみが結果として出ている。

➡第1回ワークショップで町民意識調査及び若年層アンケートの結果を参加者に共有している。

- (2) 団体ヒアリング実施結果について

資料2により、事務局が説明した。

【質疑応答・意見】

(委員)

商工会を対象にしたヒアリングをしたのは良いのだが、当事者(事業者)に話を聞くべきだったのではないか。

まちづくりについて小田急不動産のような大手だけに話を聞くのはどうなのか。

➡総計審のメンバーが所属している団体は対象から外した。ワークショップ同様、このヒアリングがすべてではない。各団体とは普段からコミュニケーションを取っているし、これからもそうするので、そこで意見を吸い上げていくということも続

けていく。

- (3) 第五次開成町総合計画基本構想将来指標検証結果について
資料3により、事務局が説明した。

【質疑応答・意見】

(委員)

人口に関しては地区（自治会）別の詳細も分かるとよかった。地区によってかなり特色が出るはずだし、それに伴う課題も異なる。

➡今後、資料提供できたらと思う。

- (4) 次期開成町総合計画策定方針（案）について
資料4により、事務局が説明した。

【質疑応答・意見】

(委員)

前期基本計画も総計審で審議対象になるのか。

➡お見込のとおり。

5次総のときは計画の見直しがなされていないわけだが、やはり必要に応じて見直しをするのが適切なのか。

➡社会情勢の変化によって目標や優先事項なども変わるので、必要に応じて見直すのが良いと考える。

(委員)

基本構想はそもそも都市像だから主体がどこかという考え方がよくわからない。将来指標は、地域の主体に求めるものなのか。進捗状況を把握する仕組みがないとのことだが、数値は把握できるので、公表すればいいだけなのでは。

➡現状は基本構想において住民と共有できる定性的な目標がないので、進捗状況等を住民と共有できる数値、機会等を設けてもよいのではないかという提案である。

(委員)

総合計画は議決案件であることを考えると、簡単に見直しできないのではないかと。

➡基本計画の目標値や達成度を議決事項にかけない自治体もあるので、柔軟に対応できるようにしたらよいのではないかとという提案である。

(委員) 土地利用計画についてどのようにお考えか。

➡今後、お示しできればと思う。

(委員)

プロセスを重視しているという点で評価できる。行政の計画だから公平性は重要だが、外の人から見ると何か分かりやすい目玉があるといい。

(委員)

5次と次期でやり方を大きく変えたいということは理解できたが、その割にはあまり方法が変わっていないように思う。方法を考える必要がある。町民に主体的に考えてもらうには、マンダラチャートのような手法がいいのではないかと。

【その他】

(委員)

実施計画も策定するのか。

➡実施計画は策定する。年数については未定。1年ごとのローリング方式の実施計画の策定の仕方も考えている。

(委員)

総合計画本体はもちろんだが、個別計画との関係性・整合性も重要。

3 その他

- ・ 次回の審議会は、5月中下旬の予定。会議内容は、基本構想素案の検討等を予定している。

4 閉会

以 上